

5月7日(日) 第二礼拝 「神様の約束の相続者」へブル6章13-14節

アブラハムは神様と祝福の契約を結びました。(創世記12:1-3)アブラハムが生まれ故郷から、神様の定められたエルサレムに行くなら、「わたしは必ずあなたを祝福し、あなたを大いにふやす」と神様は約束されました。アブラハムの祝福とは、霊的祝福(義と認められ赦される事、聖さ)、健康、富、子どもの祝福、知恵です。私たちもまたアブラハムの祝福を受ける者なのです。

第一番目、神様をご自分をさして誓い、必ず約束を果たすと言われました。(創世記15章)アブラハムは、子孫と子孫の住む土地の約束を神様から頂きました。アブラハムが「それらが私の所有であることを、どのようにして知ることができますか？」と聞くと、神様は「生贄を準備しなさい。」と言われました。神様の指示通り、アブラハムがその生贄を用意し真っ二つに切り裂くと、彼に深い眠りが襲ってきました。そして、その寝ている間に、燃えているたいまつが、この切り裂かれたものの間を通り過ぎ、神との契約は結ばれたのです。これは神様の一方的な契約でした。この真っ二つにされた生贄はイエスキリスト、たいまつは聖霊の火を表します。アブラハムの祝福はイエスキリストによって成就され、イエスキリストを証する聖霊によって、私たちにはその事が分かるのです。

第二番目、アブラハムの祝福と私たちとの関係についてです。「信仰による人々こそアブラハムの子孫だと知りなさい。(ガラテヤ3:7)」私たちは、イエス様を信じる信仰によって神の子ども、アブラハムの子孫、また約束の相続人となります。(ガラテヤ3:26.29/エペソ1:3/ローマ8:17)イエス様を信じる私たちは、霊的祝福やあらゆる祝福の共同相続人なのです。十字架とよみがえりを通して、イエス様が獲得された財産(神の義)を、私たちが受けることができるのです。アダムを深く眠らせ、そのあばら骨を一つ取り、エバが造られたように、神様が私たちの深い眠り(私たちが何もできない状態)の中で全ての良いものを私たちに用意して下さるのです。イエス様が私たちの供え物になってくださり、私たちの過去現在未来の全ての罪を赦してくださいました。その神の御業、その財産を、私たちは受けることができるのです。ヤハウエ・ニシ(勝利の旗)、ヤハウエ・シャローム(平和の主)、ヤハウエ・ツェデク(義なる主)、ヤハウエ・ロヒ(羊飼いなる主)等、全ての主の御名は私たちの財産であり、私たちは主の御名の共同相続人なのです。これは神様の一方的な恵みです。

第三番目、神様の約束を疑ってはいけません。(マルコ11:23)問題の山を見ると、失望し疑いが生じるものですが、神様の約束(御言葉)の通りになると信じるなら、その通りになるのです。御言葉である主が、必ず御言葉を成し遂げてくださり、私たちに祝福してくださいます。ですから、私たちが状況環境に左右されず、失望や恐れから守られるように、いつでも祈るべきなのです。(ルカ18:1-8)私たちはいつもアブラハムの約束を握って喜び、その喜びを持続するために、絶えず祈ることが重要です。全ての事に感謝するならば、私たちもまたアブラハムの約束を受ける者となるのです。アーメン!